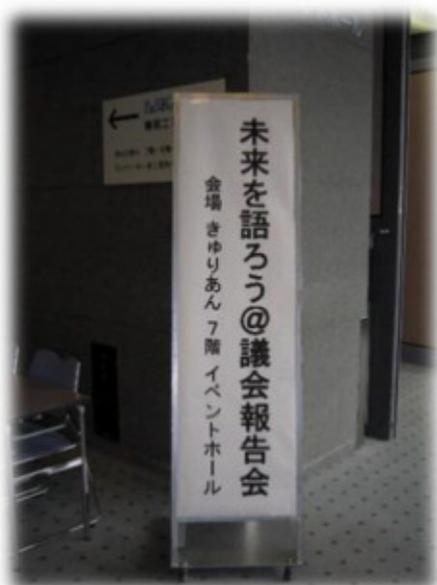


第3回 品川区議会 議会報告会 報告書



区民の声を反映し、区議会だよりのレイアウトを変更しました。



日 時：平成30年5月11日(金)18:30～20:30

場 所：きゅりあん7F イベントホール

【目次】

| | |
|-----------------------|-----|
| 1. 議会報告会 開催の経緯等 | 1 |
| 【1】開催の経緯等 | 1 |
| 【2】開催の趣旨(目的) | 1 |
| 【3】開催に向けた役割分担等 | 2 |
| 2. 議会報告会 実施内容 | 4 |
| 【1】プログラム・内容 | 3 |
| 【2】当日配付物 | 4 |
| 【3】当日参加者数 | 5 |
| 【4】当日の進行 | 5 |
| 【5】参加者の質問と回答<当日回答分> | 1 2 |
| 【6】その他の質問および回答<後日回答分> | 1 3 |
| 【7】その他の質問・意見 | 1 5 |
| 【8】意見交換会での主なご意見・ご要望等 | 1 6 |
| 【9】アンケート集計結果 | 1 8 |
| 3. 開催の総括(議員から意見) | 2 0 |
| 【1】事前準備 | 2 0 |
| 【2】開催日当日 | 2 0 |
| 【3】今後に向けて | 2 1 |

1. 議会報告会 開催の経緯等

【1】開催の経緯等

品川区議会では、これまで議会の活動状況や区政に関する情報を区議会議員が直接、区民の皆さまに報告・説明を行うとともに、区民の皆さんの貴重な意見を聴くことができる機会として議会報告会を開催し、「議会への区民参加」や「区民に開かれたわかりやすい議会」の実現に努めてまいりました。

その結果、第2回議会報告会の区民アンケートでは、「議会の傍聴に行きます。」等のご意見をいただくなど、「議会への区民参加」の意識が着実に醸成されていると取組みの成果を感じています。こうした、これまでの取組みによる機運の高まりを捉え、また品川区議会が取組む議会改革をより一層推進するため、第3回議会報告会を開催いたしました。

◇ 議会報告会等準備会議の活動実績

| | |
|-------------|----------------|
| 平成29年10月13日 | 第1回議会報告会等準備会議 |
| 平成29年11月7日 | 第2回議会報告会等準備会議 |
| 平成29年12月8日 | 第3回議会報告会等準備会議 |
| 平成30年1月26日 | 第4回議会報告会等準備会議 |
| 平成30年2月23日 | 第5回議会報告会等準備会議 |
| 平成30年3月22日 | 第6回議会報告会等準備会議 |
| 平成30年4月18日 | 第7回議会報告会等準備会議 |
| 平成30年4月23日 | リハーサル（全体打ち合わせ） |
| 平成30年5月9日 | 開催前最終打合せ |

【2】開催の趣旨（目的）

「議会報告会等準備会議」では「議会報告会の実施について」において、開催の趣旨(目的)を以下のとおり位置づけ、議会改革検討会および議会運営委員会にて確認されました。

『区民により身近な区議会であることを目指し、区議会のことを知っていただくため、議会活動の状況等を区民にお知らせするとともに、広く区民の意見を聴く機会とする。双方向の対話から政策の充実を図り、活力ある区政の発展につなげる。』

【3】開催に向けた役割分担等（平成30年5月11日開催日当日）

議会報告会は、「全議員の参加」を前提として、事前の準備および当日の担当を、以下のように割り振りました。

◇ 事前の準備

| | | | |
|----------|---|-------------------------|-----------|
| ポスター等作成班 | 3 | ◎石田 秀男（自） ○新妻 さえ子（公） | 高橋 しんじ（無） |
|----------|---|-------------------------|-----------|

| | | | |
|--------------------------------|---|----------------------------|--|
| 備品等準備班 (質問・アンケート 用紙名札ほか) | 6 | ◎石田 ちひろ (共) ○新妻 さえ子 (公) | 横山 由香理 (自) あくつ 広王 (公) いながわ 貴之 (民) 筒井 ようすけ (無) |
|--------------------------------|---|----------------------------|--|

◇ 当日の担当

| | | | |
|-----------------------------------|----|---------------------------------------|--|
| 司会係 | 2 | ◎南 恵子 (共) ○新妻 さえ子 (公) | |
| 進行係 | 4 | ◎たけうち 忍 (公) ○大沢 真一 (自) | つる 伸一郎 (公) 大倉 たかひろ (民) |
| 運営係 (※は 会場設営係 兼務) | 11 | ◎つる伸一郎 (公) ○高橋 伸明 (自) 西本 貴子 (無) | 渡部 茂 (自) ※ 渡辺 裕一 (自) ※ 若林 ひろき (公) ※ 飯沼 雅子 (共) ※ 鈴木 ひろ子 (共) ※ 石田 しんご (民) ※ 吉田 ゆみこ (ネ) ※ 高橋 しんじ (無) |
| 会場設営係 (登壇者5名、 兼務者7名 を含む) | 13 | ◎大沢 真一 (自) ○石田 秀男 (自) | 松澤 利行 (無) こんの 孝子 (公) 伊藤 昌宏 (自) 本多 健信 (自) 他上記 ※ 7名 |
| 受付係 | 7 | ◎鈴木 博 (自) | ○鈴木 真澄 (自) 横山 由香理 (自) 浅野 ひろゆき (公) 木村 けんご (民) ★ 須貝 行宏 (品) ★ 田中 さやか (ネ) |

| | | | |
|-----|---|-------------------------|---|
| 案内係 | 8 | ◎松永よしひろ（民） ○石田ちひろ（共） | 塚本 よしひろ（公） あくつ 広王（公） 中塚 亮（共） 安藤 たい作（共） のだて 稔史（共） 筒井 ようすけ（無）★ |
| 記録係 | 2 | | ◎いながわ 貴之（民） 藤原 正則（品）★ |

注1) ◎はリーダー，○はサブリーダー、左枠内は議会報告会等準備会議のメンバー
★は当日欠席。

注2) 略して記した会派等の名称は、以下のとおりです。

自：品川区議会自民党・子ども未来

公：品川区議会公明党

共：日本共産党品川区議団

民：民進党・無所属クラブ

品：無所属品川

ネ：品川・生活者ネットワーク

無：会派に属さない議員

注3) 民進党・無所属クラブは、平成30年5月29日に会派名を「国民民主党・無所属クラブ」に変更。

2. 議会報告会 実施内容

【1】プログラム・内容

18:25 <<第1部>>

進行上のお願い 議会報告会等準備会議委員 新妻 さえ子

- ・ご参加のみなさまへのお願い

主催者あいさつ 品川区議会議長 松澤 利行

- ・議会のしくみ
- ・議会改革の取り組み

常任委員会報告 総務委員長 伊藤 昌宏

- ・全国シティプロモーションサミット

2017 in Shinagawa

区民委員長 本多 健信

- ・国際化と商店街を活かした都市型観光について

厚生委員長 石田 秀男

- ・障害者支援について

建設委員長 たけうち 忍

- ・地域防災計画の修正について

文教委員長 つる 伸一郎

- ・待機児童対策について
- ・しながわ子ども食堂ネットワークについて

特別委員会報告 予算特別委員長 大沢 真一

- ・予算特別委員会の概要について
- ・平成30年度各会計予算の概要について

19:35 〔休憩：Promise ～シナガワにきっと～（3分）上映〕

19:45 <<第2部>>

質問への回答（計8件）

意見交換会

- ・3択クイズ
- ・「品川の魅力発見！」について
- ・議会・議員へのご意見
- ・各テーブルの主な意見 発表（飯沼雅子議員、石田しんご議員、吉田ゆみこ議員）

20:40

閉会あいさつ 品川区議会副議長 こんの 孝子

注1) 当日、開会時間等が前後いたしました

【2】当日配付物（受付にて手渡し）

- ①次第
- ②質問用紙
- ③アンケート用紙
- ④ご参加のみなさまへのお願い

⑤委員会報告レジюме

⑥小冊子「わたしたちと区議会」

⑦SHINAGAWA WALKING MAP 他5点

【3】当日参加者数

50人

【4】当日の進行

○進行上のお願い 議会報告会等準備委員 新妻 さえ子

- ・配布資料等の確認と参加者へのお願い等について



○主催者あいさつ 品川区議会議長 松澤 利行

- ・議会のしくみ
- ・議会改革の取り組み



○常任委員会報告

(1) 総務委員会 委員長 伊藤 昌宏

- ・全国シティプロモーションサミット

2017 in Shinagawa



(2) 区民委員会 委員長 本多 健信

- ・国際化と商店街を活かした都市型観光について



(3) 厚生委員会 委員長 石田 秀男

- ・障害者支援について



(4) 建設委員会 委員長 たけうち 忍

- ・地域防災計画の修正について



(5) 文教委員会 委員長 つる 伸一郎

- ・待機児童対策について
- ・しながわ子ども食堂ネットワークについて



○予算特別委員会報告 委員長 大沢 真一

- ・予算特別委員会の概要について
- ・平成30年度各会計予算の概要について



○質問への回答

- ・各委員長から8つの質問について、回答した（質疑内容は後に記載）

○意見交換会

・3択クイズ

Q.1：品川区にある商店街の数は？

- A. 87
- B. 97
- C. 107

A.1：C. 107

【補足】

日本初の〇〇銀座のとして命名された戸越銀座商店街
アーケード商店街として日本一長いのは武蔵小山商店街(単一の商店街として)

Q.2：品川区にある公園の数は？

- A. 166
- B. 266
- C. 366

A.2：B. 266

【補足】

子どものアイデアを活かした公園や防災機能に特化したヘリポート付きの
防災公園が有ります。

Q.3：品川区で開催されるオリンピック・パラリンピックの競技種目でないものは
どれ？

- A. ビーチバレーボール
- B. ブラインドサッカー
- C. ホッケー

A.3：B. ブラインドサッカー

【補足】

ビーチバレーは潮風公園、ホッケーは大井ふ頭中央海浜公園で開催されます。
応援競技としてブラインドサッカーがあり、世界初となるブラインドサッカー
のワールドグランプリが品川区で開催されました。

Q.4：次のうち品川区内に無い偉人のお墓はどれ？

- A. 伊藤博文（初代総理大臣）
- B. 板垣退助（明治期の政治家）
- C. 勝海舟（幕末～明治の武士、政治家）

A.4：C. 勝海舟

【補足】

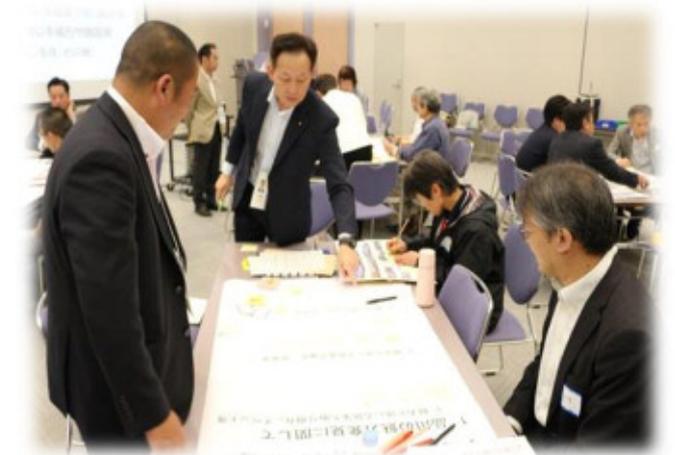
伊藤博文の墓：西大井
板垣退助の墓：北品川の品川神社

勝海舟の墓：大田区の洗足池公園



・「品川の魅力発見！」について／議会・議員へのご意見

各テーブルに議員が2～3名ずつ座り、参加者から、ポストイット等に意見を記入してもらいなど、活発な意見交換を実施した



・各テーブルの主な意見の発表

飯沼雅子議員、石田しんご議員、吉田ゆみこ議員より、複数のテーブルの主な意見を代表して発表があった



○閉会のあいさつ 品川区議会副議長 このの 孝子

・閉会に際して、参加者への御礼



【5】参加者からの質問と回答<当日回答分>

(1) 総務委員会

Q.1：報告会とあわせて説明会や区民参加の会議などが必要ではないでしょうか。

A.1：会議等において地域住民全員が集まり、区政に関して議論を深めていくことは、品川区の人口規模から言えば、難しいと思われます。引き続き、品川区議会として、議会報告会等の機会を捉え、区民の皆さまのご意見・ご要望をくみ取り、区政に民意を反映させる役割を担っていきます。

【補足】

区では、事業の実施主体として区長ミーティング、区政モニターの他に必要に応じて事業ごとに説明会を実施しております。

Q.2：少子高齢化の原因は为什么呢。

A.2：結婚しない方の割合が増加しているなど要因は様々考えられます。この問題については、品川区だけではなく、日本全体で取組まなければならないものですので、区民の皆様から頂いたご意見を東京都または国に伝えるなど、総合的な対策を進むよう区議会としても取組んでいきます。

(2) 区民委員会

Q.1：商店街の後継者育成は、具体的にどのように行われているのでしょうか。

A.1：商店街における後継者不足は、非常に重要な課題であると認識しています。区では、平成28年度より事業広報PRパンフレット作成・配布、事業承継セミナーの開催、事業者個別支援の実施および地域連絡協議会の設置と開催など世代交代を円滑に図るため事業承継支援事業を実施しています。また、平成30年度より設備投資費用の一部助成する事業承継設備投資支援がスタートいたしました。今後とも、商店街に対する支援の充実に向けて、区議会としても積極的に取組んでいきます。

(3) 厚生委員会

Q.1：「やまなみ工房」を見学すると決めた理由は为什么呢。視察内容をもっと詳しく説明してほしい。

A.1：厚生委員会の所管事務調査のうち「障害者の就労支援」の調査を行うため、知的障害者、精神障害者を中心とした、福祉的就労の場及び地域生活支援の施設で「いかに日常を自分らしく過ごせるか」に重点を置き、事業を展開する「やまなみ工房」の方針、取組みについて視察を行いました。視察の報告書に関しましては、品川区議会事務局または区政資料コーナーにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

【補足】

所管事務調査とは、各委員会が担当している区の業務（所管事務）について調べ、改善・改良すべき点の指摘や政策提案などを行うものです。

(4) 建設委員会

Q.1：わが家の防災ハンドブックの改訂はいつでしょうか。

A.1：地域防災計画の修正を踏まえ、平成31年3月末または平成30年度末までに防災ハンドブックの改訂を行う予定です。

Q.2：家庭内備蓄は、必要であると考えますが、家の倒壊や避難の際に持つことが出来づらいなど無駄になるのではないのでしょうか。

A.2：品川区では、発災時に必ず避難するのではなく、火災・倒壊等の危険性がなければ在宅避難を推奨しておりますので、家庭内備蓄のご用意にご理解・ご協力をお願いします。

Q.3：地域防災計画のパブコメや説明会は情報弱者への配慮として実施するよう建設委員会として求めたのでしょうか。その上で、行政がやらないとしたのか教えてください。

A.3：パブリックコメントについては、平成30年2月1日から3月2日までの1か月間実施し、3名から13件のご意見がありました。地域防災計画修正にともなう説明会の開催については、区より現時点で実施する予定はないと聞いています。

【補足】

パブリックコメントについては、地域防災計画の修正が区民意見公募手続を要する事案であることから実施されました。

(5) 文教委員会

Q.1：プログラミング教育に関する区の方針を教えてください。

A.1：品川区立京陽小学校では、全児童に小型デバイスを配布し、教科学習の中で使用するなどプログラミング学習の取組みがすでに行われています。また、区は新たな教育要領「品川区立学校教育要領」を策定し、2020年からのプログラミング教育の必修化にあたり、各教科においてプログラミング的思考を育むよう学習指導を行うとしています。

【6】その他の質問および回答<後日回答分>

(1) 総務委員会

Q.1：定住人口と流入人口の割合はどうでしょうか。

A.1：平成27年の国勢調査によると昼間人口が54万4,022人、夜間人口が38万6,855人となっています。また、品川区の住民基本台帳による最新の人口は、平成30年6月1日現在で39万1,992人です。人口移動については、「品川区の統計」の平成28年の人口動向では、都内から品川区に転入してきた方が1万3,907人、都外から転入した方が1万8,289人で合計3万2,196人となっています。

Q.2：プロモーションビデオはどの年齢層を対象としたものでしょうか。

A.2：幅広い世代の区民を対象にしたものですが、特にファミリー層を意識し、区の魅力発信することで品川区に興味を持ってもらうことを目的としています。

(2) 区民委員会

Q.1：核店舗とは。

A.1：商店街の核となる個店づくりに取り組む店舗等のことです。

(3) 建設委員会

Q.1：品川区には、いくつぐらいの避難所があるのでしょうか。

A.1：品川区の避難所は、区民避難所が52か所、補完避難所が43か所、二次避難所が18か所、福祉避難所が15か所あります。各地区の避難所等の位置につきましては、わが家の防災ハンドブックや品川区防災地図等でご確認ください。

【補足】

区民避難所…地震等による家屋の倒壊、焼失などで被害を受けた方、また、被害を受ける恐れのある区民を一時的に受け入れ、保護するために開設する避難所です。

補完避難所…区民避難所の収容力に不足が生じた場合に、これを補完する他の施設等のことです。

二次避難所…区民避難所で他の避難所と避難生活を送ることが困難な要配慮者を保護する施設です。

福祉避難所…区民避難所および二次避難所で他の避難者と避難生活を送ることが困難な要配慮者を保護する施設です。

Q.2：羽田新飛行ルートへの品川区の対応はどうなったのか。

A.2：品川区は、国から示された案に対して、騒音影響の軽減や落下物を含めた徹底した安全管理に取り組むことを強く求めるとともに、必要な情報提供と区民への丁寧な説明を行うように求めています。

Q.3：駐輪場や走行空間の整備など自転車を利用しやすい環境整備をすすめてほしい。

A.3：区では、平成29年に大森駅水神口地下駐輪場の設置、西大井駅前ロータリー歩道上および西大井広場公園横の立会道路歩道上への駐輪施設の設置・拡張を行うなど、平成29年度までに、区営自転車等駐輪場を区内18駅に26か所（収容可能台数計8,675台）を整備しました。

また自転車レーンの整備については、立会道路や大井ふ頭中央海浜公園周辺など、平成28年度末で全長約6.7kmを整備しました。現在は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた自転車推奨ルートの取り組みを

関係機関と連携しながら進めています。

Q.4：飛行機からの落下物対策はどうなっていますか。

A.4：区は国より、整備点検の充実、駐機中の機体チェックの強化等とともに落下物防止の対策基準（案）をとりまとめるなど、航空事業において落下物がないよう未然防止に全力を尽くすと聞いております。

Q.5：私の地域の避難所は、建替え工事が始まっているのにもかかわらず、芳水小です。万一の場合はどこに逃げたらいいのですか？変更すべきです。

A.5：品川区では、学校改築の工事期間中、仮設校舎を避難所に指定していますが、仮設校舎も耐震設計としているため、避難所としての機能を十分に確保したうえで設置しています。

（４）予算特別委員会

Q.1：全体的に税収は減収とのことでしたのに、予算は昨年度比増額というのは心配です。もっと無駄削減に真剣になってほしいです。

A.1：品川区の税収は、歳入全体では、平成 30 年度が 1,745 億 7,800 万円で、前年度の 1,645 億 3,600 万円と比べて 100 億 4,200 万増加しています。

主な内訳としては、特別区税では 451 億 8,650 万円と、前年度の 444 億 7,912 万円に比べて 7 億 738 万円の増、地方消費税交付金では、清算基準の見直しにともない平成 30 年度が 87 億 7,000 万円と、前年度の 103 億円に比べて 15 億 3,000 万円の減となっています。

一方で歳出については、引き続き見込まれる乳幼児人口の増に起因する待機児童対策や、今後数十年続くと想定される高齢者人口増への対応などの施策を充実させていく必要があります。

このため区は、業務執行体制を中心に事業委託化など内容を精査しつつ、不断の見直しの徹底と創意工夫を重ね、最小の経費で最大の効果をあげるよう努めています。引き続き、品川区議会としても、提出された条例や予算等が適正かどうかなど、区政が正しく運営されているかチェックします。

【7】その他の質問・意見

※議会として、考え方が一致していない等の理由により、回答は控えさせて頂きました。

- ・都市型観光発展のため 29 号線の事業をやめてください。
- ・品川区内の福祉施設に当事者は要望を抱えているので、委員会として団体合同の意見聴取などを行い、委員会として議論するよう求めたい。
- ・受給者証が届くのが遅い。
- ・介護現場では人手が不足重労働です。介護関係予算は適切に執行されているのか。
- ・歩道橋をユニバーサル化するなど目に見える住環境の改善を求める。
- ・品川区上空を飛行機が飛ばないようにできないのか。
- ・補助 29 号線が作られると芳水小は道路の向こうになるので逃げられません。道路

計画をやめさせていただきます。

【8】意見交換会での主な意見・要望等

(1) 品川の魅力発見に関して

①魅力と感ずる施策や取り組み等

- ・障害者の勉強会・見学会（かもめ会）
- ・子どもすこやか医療費助成
- ・自転車専用道路（通行帯）
- ・区内一斉防災訓練
- ・わ！しながわのバッチ
- ・子どもが増えている
- ・子育て支援
- ・保育園・幼稚園の質の高さと数の多さ
- ・宿場まつり
- ・人権尊重都市品川宣言
- ・品川女子学院の生徒の花植え
- ・水辺の取り組み
- ・伝統の技と味／しながわ展
- ・大井どんたくや区民まつり
- ・大井町アトレでの期日前投票
- ・祭りや神輿
- ・デイサービスの事業者が多い
- ・小学校の教育や様々な行事
- ・待機児童対策
- ・小中一貫教育
- ・非核平和都市品川宣言
- ・障害者差別解消の施策
- ・小中学生のボランティア
- ・まちがきれい

②魅力と感ずている風景や場所、施設等

- ・車が入ってこない商店街
- ・昔の雰囲気を残している新馬場など
- ・旧東海道の街並
- ・無電柱化された戸越銀座商店街
- ・アーケードがある武蔵小山商店街
- ・品川図書館の蔵書
- ・緑や桜が多い
- ・旗の台伏見稻荷神社
- ・八潮の公園
- ・樹木の多い林試の森
- ・戸越公園や文庫の森
- ・しながわ花海道
- ・しながわ歴史館
- ・坂本龍馬像
- ・ハッ山公園
- ・スクエア荏原
- ・冬のさくら（五反田・大崎）
- ・近くにある水辺
- ・八潮の緑
- ・住みやすい商店街
- ・大井競馬場
- ・立ち飲み屋が多い
- ・ホテルマリオットの庭園
- ・大井水神公園
- ・目黒川の桜
- ・しながわ防災体験館
- ・運河や屋形船
- ・大森貝塚
- ・しながわ水族館
- ・文学の街としての大森
- ・天王洲アイル
- ・公園がきれいで花を育てている

③魅力と感ずる点（その他）

- ・駅の数が多い
- ・交通の便が良い
- ・友人が多い
- ・児童センターが多い
- ・史跡が多い
- ・物価が安い
- ・「品川」という名前
- ・中小企業が多い
- ・町会が活発

- ・個性や魅力がないところ
- ・区議会がそこそこしっかりしている

(2) さらに魅力をアップするには

① 施策や取り組み、イベント等

- ・点字ブロックの上に物や自転車を置かない
- ・AEDの設置推進
- ・区の観光大使にタレント等の活用を
- ・電線類の地中化
- ・災害時の給水拠点の増設
- ・防災・テロ対策の充実
- ・若年世代の区政参加を促進するイベントを
- ・動物と触れ合う場
- ・水辺の活用
- ・積極的な情報提供
- ・区内外への区政のPR
- ・七福神めぐりのPRを充実
- ・高層ビルはやめて緑を増やす
- ・目黒区と共同でまちづくりを実施
- ・公衆トイレをきれいに
- ・町会の事業に支援を
- ・外国人観光客が喜ぶイベントや出店
- ・乳幼児と家族が参加できるイベントの増
- ・新しく引っ越してきた住民に地域イベント等への参加を促進する
- ・地域で子ども見守るために、小中一貫をやめてほしい
- ・自立性を尊重した教育を小中学校で実施
- ・ユニバーサルデザインによる歩行環境整備
- ・鎌倉で実施の「カマコン」のような住民主体の事業創設の環境づくり
- ・ノリが良く勢いのある企画やアート関連イベントの開催等
- ・祭り等のイベントに子どもの参加促進のため、小学校の休校等を検討しては
- ・支え愛・ほっとステーションを土・日でも連絡つくようにしてほしい
- ・バリアフリーの推進
- ・介護サービスの区分変更の緩和
- ・区民ファッションショーの実施
- ・駅のホームドアの設置
- ・国民健康保険料の引き下げ
- ・史跡の保存体制の整備
- ・プログラミング教育の充実
- ・図書館に外国コーナーを設置
- ・26号線開通後の活用
- ・図書館の充実
- ・保育園の増設
- ・商店街への支援の拡充
- ・防犯カメラの増設
- ・大井町線乗り放題
- ・公園内を禁煙に
- ・空き家の適正管理と活用

② 施設整備等

- ・明るい公園の設置
- ・文化、スポーツ施設の設置
- ・鮫洲公園のような子どもが喜ぶ公園の増設
- ・荏原地区にプレーパークを増設
- ・区営住宅の増設
- ・公園に鉄棒の設置
- ・小さな公園の増設や子どもが喜ぶ遊具の設置
- ・公園にトイレを設置してほしい
- ・花時計の設置
- ・介護施設の充実
- ・ドッグランの整備
- ・目黒川の浄化
- ・上大崎に公共施設の増設を

- ・文化センターの増設と施設を広く
- ・空き家や土地の寄付を活用した公園の整備を
- ・仮称しながわスタジアム、しながわアリーナ等の集客拠点を整備する
- ・工場跡の活用等で地域工房の創設（障がい者の雇用含む）
- ・区民集会所の増設（特に大崎第2地区内）
- ・企業でなく住民が使いやすい施設
- ・ゆうぽうと跡をホールを含む複合施設に
- ・TOCの建て替え（複合的な商業施設に）
- ・大井町駅の入出口を区役所寄りに設置
- ・船が運行できるよう棧橋の整備を促進
- ・テニスコートなどのスポーツ施設の増設と利用料を安価に

③その他

- ・品川駅を品川区に
- ・消防団と消防署の役割の明確化
- ・町会を区の下請けにしないこと
- ・人に光を（一人一人を見てサービスを）
- ・自分の住む町について意見交換と発信の場
- ・区民が発言できる会合等を中学校単位で開催してほしい

【9】アンケート集計結果

＜ 回収総数 30枚 ＞ 以下、カッコ内は実回答数

(1) お住まいの地域 (29)

区内 品川地区：1 大崎地区：5 大井地区：8
 八潮地区：1 荏原地区：5 地区未記入：4
 区外 5

(2) 性別 (27)

男性：18 女性：9

(3) 年代 (29)

10歳代：1 20歳代：0 30歳代：6 40歳代：3
 50歳代：5 60歳代：5 70歳代：8 80歳代：1

(4) 議会報告会参加のきっかけ (44)

区議会だより：13 統合ポスター：3 広報：7
 議会報告会ポスター：4 議会ホームページ：4 議員：9
 知人：1 その他（回覧など）：3

(5) 各委員会の報告について

①総務委員会 (23)

わかりやすかった：11 わかりにくい：2 どちらでもない：10

②区民委員会 (23)

わかりやすかった：11 わかりにくい：2 どちらでもない：10

③厚生委員会 (23)

わかりやすかった：17 わかりにくい：1 どちらでもない：5

④建設委員会 (25)

わかりやすかった：14 わかりにくい：3 どちらでもない：8

⑤文教委員会 (27)

わかりやすかった：14 わかりにくい：3 どちらでもない：10

⑥予算特別委員会 (24)

わかりやすかった：7 わかりにくい：3 どちらでもない：14

(6) 意見交換会について (21)

よかった：20 悪かった：0 どちらでもない：1

(7) 開催日時の設定について

①日にち (24)

参加しやすい：19 参加しにくい：5

②時間 (16)

ちょうど良い：12 長かった：1 短かった：3

③要望

- ・仕事を参加している人が参加しやすい曜日設定が必要では
- ・土日によってみては（土、日の午前または午後を希望）
- ・たまたま有休で参加できた
- ・議員と直接触れ合えたのはよかったが、もう少し時間が欲しかった
- ・もっと行きやすい日時に開催してほしい

(8) 報告会全体の評価について (22)

よかった：16 悪かった：0 どちらでもない：6

(9) 自由意見欄

- ・1回目より2回目、2回目より3回目と良くなっている
- ・「街づくり」をテーマにしてほしい
- ・品川の魅力を話しながら、新たな意見も出てくるのでとても良いと思う。また、地域ごとの課題を共有できる
- ・議会報告会の継続、発展を望みます
- ・一部の報告は、行政職員から施策の説明をされているようで居心地が悪い
区の事業を議会として評価しているもの、改善されるべきは何かということを報

告してほしい

- ・何が解決し、解消されたのか。また何が問題、課題として残されているのか、それを教えてほしい
- ・開催場所は、中学校区単位でもいいのではないか

3. 開催の総括(議員からの意見)

【1】事前準備

(1) 周知・広報

- ・他の自治体の状況を見ても回数を重ねるごとに参加者が減る傾向にある。そこで参加者のターゲットを学生とし、区内の教育機関（公立学校等）に対して、議会報告会等準備会議から参加を促す取組み等が必要であると思う。
- ・品川区役所が発行している統合ポスターでは、紙面の都合上、文字数等に制限があるなど議会報告会の内容を区民等に十分伝えきれないため、集客に繋がっていないと思われる。集客のためには、港区議会のように、区内の町会掲示板に、議会報告会の開催周知用のポスターを貼るなど広報について工夫が必要だと感じた。

(2) 配付物等準備

- ・今回で3回目の開催となることから、横断幕等の作成など事前準備はスムーズに行うことができたと思う。また、配布物の封入では、議会報告会等準備会議に所属する議員が会派の垣根を超え、一丸となり準備に取り組んだ。

【2】開催日当日

(1) 各委員会報告

- ・参加者の興味を引く内容となるようさらなる事前協議が必要。
- ・プロジェクターの画像は文字の大きさに限界があるため、見せる資料づくりが必要ではないか。
- ・報告テーマの統一も必要ではないか。
- ・委員会別の開催や委員会ごとに時間配分を変える等の工夫も必要ではないか。
- ・厚生委員会以外、行政の取組みの報告になっていた。
- ・委員会報告は次回なくしてもいいのではないか。
- ・所管・行政視察等の専門用語はわかりにくいので、表現の工夫が必要。
- ・配布資料があるので、ポイントを絞り、ひとつの委員会で3分から5分で報告すればよいのではないか。

(2) 意見交換

- ・中学生の参加者もいてクイズを含め楽しんでもらえた。
- ・意見が出しやすい雰囲気づくりができた。
- ・過去2回に比べて意見交換が中途半端で終わることなく、時間不足はなかった。

- ・参加者が少ない分、発言の機会が増えたためか濃密な会話ができた。
- ・司会者による各テーブルの意見を紹介は、大変参考となり、参加者の意見を引き出す助けとなった。
- ・リハーサルの際にグループワークのやり方をしっかり伝えるべきであった。
- ・テーマが区民の切実な願いでないため、有意義と思える内容ではなかった。また、クイズが区民の関心から外れていた。

(3) 全体を通じて

- ・参加者が少ないため対策が必要。
- ・日時の設定とターゲットとなる参加者の設定において検討が必要。
- ・将来的にはライブ配信を検討してはどうか。
- ・参加者が少なく残念であったが、参加人数に拘らずに、今後とも開催すべき。
- ・委員長報告を聞くよりも、意見を言いたいという参加者が多いと感じた。
- ・何のための議会報告会をあらためて考える必要があるのではないか。
- ・イベントと連動した開催を検討してはどうか。
- ・参加者がまた来たいという内容ではなかったため、今後内容について検討が必要。
- ・3年経過し、参加者も減少傾向であるので、地域ごとの小規模開催など工夫が必要だと感じた。
- ・服装をカジュアルにしてはどうか。
- ・内容が盛りだくさんすぎて、何を伝えたいのかわからないとの声があった。
- ・参加した中学生は昨年も参加し、親に頼んで今回も参加した。普段、議会を知る機会がなく傍聴に行く機会がないため、議会報告会や議員の様子を見たかったとのことで、今後休日議会を検討してはどうか。

【3】 今後に向けて

「議会への区民参加」や「区民に開かれたわかりやすい議会」の実現を目指し、開催してきた議会報告会は、平成28年から数えて3回目となった。今回は、第2回議会報告会に、ご参加者頂いた方のご意見を踏まえ、時間配分を見直し、意見交換に重点を置いた内容とした。

参加者数については、前回の実績を下回ったものの、「品川区の魅力」や「魅力向上にむけた取組み」などについて各テーブルで、活発な意見交換が行われていた。いただいたご意見は、内容を集約、精査し、品川区がより住みやすい、魅力的な街となるよう政策提案の参考とする。

今後は、参加者数の減少を踏まえ、周知方法の改善や気軽に参加できるよう内容等の工夫に努めるとともに、運営方法や対象者等についてもあらためて検討を行うなど改善に取り組んでいく。